

けやき

心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

5月

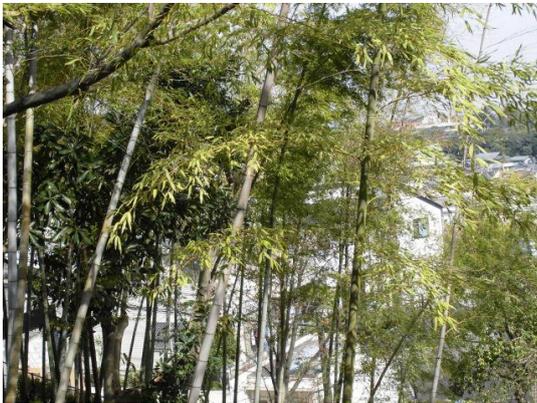
横浜市立岡村小学校・学校だより R6.4.30

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>



新緑の下で

横浜市立岡村小学校
校長 川村 真弘



信念を貫く意思をもち、安心して信頼できる存在を「竹を割ったような人」となぞらえるなら4月当初から6年生が1年生のお世話する姿勢や態度がまさにそうだった。竹はすべての節ごとに、「成長点」と呼ばれる部分があり細胞分裂して成長する。例えば、節が30

あり、成長点が一日に1cm伸びれば、一日で一気に30cm成長することになる。この様子が、ある日、急に伸びを遂げる子どもたちの成長と重なる。こうして、子どもたちから感動をもらいながら、新緑の美しさが鮮やかな季節を迎えた。樹木の葉は、光と影の案配でコントラストが際立ち緑色は千変万化する。緑葉の下に陰ができる「緑陰」は三夏の季語。文字通り暑さを凌ぐ陰である。岡村小自慢の通称「緑陰教室」は、ピロティの下方、桜道の脇にある。そこにそびえる竹の、青竹色、若竹色、老竹色など個性織り交じる緑色と緑陰による穏やかで、落ち着いた静寂と閑雅を校内に模して、子どもたちの学びの環境を整え、健やかな成長を育みたい。



5月25日土曜日。「岡村オリンピック」を開催します。どうぞお楽しみに。